

2006年度 秋季相互協力連絡会（第31回） 議事要録

開催日時：2006年度11月2日（木）13:05～13:45

開催場所：金沢学院大学 2号館4階 第1会議室

出席校：29校39名

欠席校：金沢工業大学、京都嵯峨芸術大学、京都創成大学、京都ノートルダム女子大学
京都薬科大学、聖泉大学、種智院大学、奈良産業大学、奈良大学、びわこ成蹊
スポーツ大学、明治鍼灸大学
（11校全て委任状提出済み）

進行は、京都地区協議会相互協力連絡会世話人会幹事館 佛教大学図書館 徳森京子より、
配付の開催要項・資料に基づきなされた。

【報告事項】

1. 出欠状況について

出席者名簿のとおり。

2. 2006年度相互協力連絡会三協定参加状況

三協定参加状況について、資料1「相互協力連絡会三協定参加状況（2006年11月2日現在、グループ別）」のとおり報告がなされた。なお、帝塚山大学図書館分館より2006年7月10日付で「共通閲覧証協定」・「相互貸借協定」への加盟申請があり、第2回世話人会（2006年7月21日開催）で審議のうえ参加を承認し、7月28日付で相互協力利用マニュアルとともにホームページへ掲載したことの報告がなされた。

3. 2006年度相互協力連絡会研修会（第13回）について

日時・会場・テーマについて、要項に基づき説明がなされた。研修会は同志社大学と京都産業大学が担当する旨の紹介に引き続き、会場校である同志社大学 上田氏より、本研修の趣旨について、共通閲覧制度を中心にした地域連携に関する事例報告の場とする旨の説明とともに、事例報告者が現在未定のために報告者を募りたい旨の協力依頼がなされた。

なお、国公立大学からも事例報告を行ってもらうべく、近畿イニシャティブとの共催で開催する予定であり、その場合の報告者の交通費等は、研修会交付金より支出したい旨の説明がなされた。

4. 資料分担保存リストのホームページへの掲載について

立命館大学 鳥井氏より、資料2「資料分担保存リストのホームページへの掲載について」・「京都地区協議会相互協力連絡会『資料分担保存リスト』の取り扱いについて」等に基づき、リストの点検依頼と併せて今後の運用日程について報告がなされた。

5. 2007年度相互協力連絡会世話人館・委員館について

資料3「相互協力連絡会世話人館・委員館のローテーション表」に基づき、2007年度の世話人館並びに三協定委員館が報告され、新規3館の紹介がなされた。

【審議事項】

1. 阪神地区協議会との相互協力について

資料4「阪神地区協議会と京都地区協議会との相互協力について」に基づき経緯の説明と併せて取り交わす文書の内容、今後の進め方について幹事館より提案がなされ、案に基づいて進めていくことが確認された。

2. 相互協力利用マニュアルの運用について

資料5「相互協力利用マニュアル更新の流れ(案)」に基づき、相互協力利用マニュアル更新手続をルール化することが幹事館より提案され、異議なく承認された。これにより年度末に加盟館にマニュアル更新の連絡を行うこととなった。

なお、本年7月の更新後に、同志社女子大学図書・情報センター(京田辺図書館)と京都文教大学図書館のマニュアルについて、追加変更を行った旨の報告がなされた。

3. その他

なし

【承合事項】

なし

以上をもって、秋季相互協力連絡会(第31回)を終了した。